

帰宅時の注意点

授業や課外活動のため帰宅が遅くなる場合があります。

暗い夜道では、ひたたくりや痴漢などの被害に遭いやすくなります。これらの被害は、怪我や心の傷を受ける場合があります。

身の安全を守るために、下記のポイントをチェックし、帰りが遅くなったらタクシーを利用するなど被害に遭わない対策を心がけてください。

「安全な帰宅」のためのポイント

- 帰りの電車待ちのホームにいるときから周囲を見回して警戒
- 電車内では居眠りをせず、自分を見る不審者がいないかさりげなくチェック
- 下車駅で改札口を出る際は後ろを振り返り、不審者がいないか確認
- 夜道では背筋を伸ばし「前方・左右・後方」に目を配る
- 最寄り駅から自宅までの「安全な場所」「危険な場所」を把握
- 「尾行されている」などの不安を感じた場合、自宅ではなく駅など人気の多い場所にいったん戻る
- 帰宅経路は複数用意し、遠回りでも安全な経路を選ぶ
- コンビニでは店内に不審者がいないか警戒し、店を出てからも周囲を見回す。1人暮らしでも飲料、惣菜などは2人分買う
- 夜道での携帯電話や携帯音楽プレーヤーの利用は控える
- 自宅のある建物に入る際は後ろを振り返って不審者がいないことを確認
- 玄関ドアは周囲をよく見てから開け、部屋に入ったらすく閉める
- 不安を感じながら帰宅した場合、15分程度は明かりをつけない
- 郵便受けには氏名を書かず、鍵をかける。部屋にも表札は出さない

産経新聞 平成24年12月18日掲載（無断転載・複写不可）